



2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月8日

上場会社名 GMOアドパートナーズ株式会社
コード番号 4784 URL <https://www.gmo-ap.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 橋口 誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 菅谷 俊彦
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5728-7900

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	3,454	19.1	70	33.9	72	64.4	61	45.5
2023年12月期第1四半期	4,269	7.1	106	64.9	203	38.9	113	42.2

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 79百万円 (34.9%) 2023年12月期第1四半期 122百万円 (21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	3.84	3.84
2023年12月期第1四半期	7.07	7.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	10,976	5,296	47.7
2023年12月期	10,847	5,242	47.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 5,231百万円 2023年12月期 5,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	0.00	0.00	0.00	1.30	1.30
2024年12月期	0.00				
2024年12月期(予想)		0.00	0.00	6.90	6.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期	15,000	0.6	400		400	121.9	220	445.3	13.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) GMOアドマーケティング株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	16,757,200 株	2023年12月期	16,757,200 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	635,867 株	2023年12月期	635,867 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	16,121,333 株	2023年12月期1Q	16,087,050 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法について)

2024年12月期第1四半期 決算補足資料は、本日(2024年5月8日)、TDnetに開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、親会社であるGMOインターネットグループのインターネット広告・メディアセグメントを構成する連結企業集団として「すべての人にインターネット」という企業理念のもと、インターネット広告事業におけるナンバーワンを目指し、事業を展開しております。

当社グループの事業領域であるインターネット広告市場につきましては、2023年度の広告費が3兆3,330億円（前年比+7.8%）と、マスコミ四媒体広告費を上回り、3兆円を超える市場規模となっております。（株式会社電通調べ）。総務省の調査では、全ての年代で、インターネット利用時間をもっとも長く、また利用者の割合も継続して増加しているという結果が出ております。動画視聴・投稿やソーシャルメディアの利用時間も増加傾向が続いており、日常生活におけるインターネットの果たす役割がますます高まっているものと考えられます。（総務省「令和4年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」より）。

このような流れを受け、インターネット広告市場においては広告形態の多様化が進んでおり、従来から活用される運用型広告以外にも、マス広告のように、認知促進を目的として動画広告等を活用する事例や、インターネット広告とオフラインでのマーケティング活動を組み合わせた事例など、企業におけるマーケティング活動の様々な場面でインターネット広告の活用が進んでおります。また、これに比例する形で、当社グループのようなマーケティングサービスを提供する事業者においては、広告主の事業活動全体に影響を及ぼすようなマーケティング支援と関連する高度な知識・ノウハウが求められるようになりつつあります。

当社グループでは、今後も同様の傾向が続くものと見込んでおり、本市場におけるさらなる取扱高の拡大と、市場トレンドに即した柔軟な戦略による収益の最大化を企図し、事業活動を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、世界的な経済環境への不透明感が続く中、特に我が国においては、対面経済の正常化により経済環境全体の見通しが強気へ振れる一方、一部業種におけるコロナ禍で生じたいわゆる「巣ごもり」需要の落ち着きもみられ、当社顧客においても一部業種で広告需要の縮小が当社の想定を超えて顕著になり、取扱高が前年同期比で減少することとなりました。自社商材の拡販や生成AIを始めとした様々な技術・手法による業務効率化を図り、また厳格な費用抑制を実施したものの、当第1四半期連結累計期間においてトップラインの減少による利益の減少を補うには至りませんでした。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は3,454百万円（前年同期比19.1%減）、営業利益は70百万円（前年同期比33.9%減）、経常利益は72百万円（前年同期比64.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

なお、当社では、2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、当社グループの事業規模をより理解しやすく表現する方法として、IR資料においては、従来の計上基準に基づいた売上高を「取扱高」と表記し、会計上の売上高と併わせ、下表のとおり記載をしております。

[連結業績]

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (2023年12月期)	当第1四半期 連結累計期間 (2024年12月期)	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
取扱高	10,399	8,224	△2,175	△20.9
売上高	4,269	3,454	△814	△19.1
営業利益	106	70	△36	△33.9
経常利益	203	72	△131	△64.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	113	61	△51	△45.5

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント業績については、セグメント間の調整などもあり、取扱高を表示することが難しいため、会計上の売上高のみを開示しております。また、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み換えた数値で比較分析しております。

① インターネット広告事業

「インターネット広告事業」は、広告商品の販売や提供する広告の管理運用といった、インターネット広告代理事業をはじめ、業界最大級の接続先を誇る「GMOSSP」や、広告配信プラットフォーム「ReeMo」の提供など、インターネットにおけるマーケティング全般に関する事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、コロナ禍で生じたいわゆる「巣ごもり」需要の落ち着きにより一部業種で広告予算の縮小・クライアントの減少があり、売上高については前年同期比で減少となりました。一方、自社商材の拡販や営業体制の効率化により、営業利益においては増益となっております。

これらの結果、インターネット広告事業の売上高は3,096百万円（前年同期比21.7%減）、営業利益は275百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

② インターネットメディア事業

「インターネットメディア事業」は主に、自社WEBメディアの運営やそれに付随するツールの提供など、インターネットにおけるメディア運営にまつわる事業を行っており、自社開発のインターネットメディア「michill byGMO」などの事業が本セグメントに属しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、検索エンジンにおけるアルゴリズムアップデートの影響を受け、月間ユーザー数が減少傾向となりました。一方でこれを補うため外部メディアとのアライアンスを強化し、売上高は増加いたしましたが、外部仕入の増加に伴い利益率は減少し、増収減益となっております。

これらの結果、インターネットメディア事業の売上高は361百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は7百万円（前年同期比91.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて128百万円増加し10,976百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加474百万円、現金及び預金の減少304百万円、無形固定資産その他の減少40百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて74百万円増加し5,680百万円となりました。これは、主に買掛金の増加242百万円、流動負債その他の減少118百万円、賞与引当金の減少37百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて53百万円増加し5,296百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加41百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により61百万円の増加、配当金の支払いにより20百万円の減少等）、その他有価証券評価差額金の増加15百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月5日に公表しました2024年12月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,185,083	3,880,172
受取手形及び売掛金	3,620,721	4,095,578
棚卸資産	1,149	1,253
関係会社預け金	860,000	860,000
その他	455,616	430,093
貸倒引当金	△37,832	△34,797
流動資産合計	9,084,737	9,232,300
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	233,507	229,505
工具、器具及び備品（純額）	55,372	55,828
有形固定資産合計	288,879	285,333
無形固定資産		
のれん	25,666	23,466
ソフトウェア	254,300	273,328
その他	50,888	10,327
無形固定資産合計	330,855	307,121
投資その他の資産		
投資有価証券	629,864	644,581
繰延税金資産	128,031	121,997
その他	409,844	409,445
貸倒引当金	△24,507	△24,367
投資その他の資産合計	1,143,231	1,151,657
固定資産合計	1,762,967	1,744,112
資産合計	10,847,704	10,976,413

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,690,616	3,932,753
未払金	324,559	346,483
未払法人税等	24,502	7,969
未払消費税等	46,590	36,606
賞与引当金	93,088	55,298
役員賞与引当金	5,298	—
ポイント引当金	44,942	43,807
その他	930,569	812,135
流動負債合計	5,160,169	5,235,053
固定負債		
繰延税金負債	12,469	13,899
資産除去債務	148,682	148,806
その他	284,344	282,644
固定負債合計	445,496	445,351
負債合計	5,605,665	5,680,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,301,568	1,301,568
資本剰余金	2,149,494	2,149,494
利益剰余金	1,903,986	1,945,012
自己株式	△252,278	△252,278
株主資本合計	5,102,770	5,143,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,916	87,722
その他の包括利益累計額合計	71,916	87,722
新株予約権	31,863	30,504
非支配株主持分	35,488	33,985
純資産合計	5,242,038	5,296,008
負債純資産合計	10,847,704	10,976,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,269,041	3,454,287
売上原価	2,422,732	1,929,777
売上総利益	1,846,308	1,524,510
販売費及び一般管理費	1,739,813	1,454,163
営業利益	106,495	70,346
営業外収益		
受取利息	1,141	1,087
受取配当金	5,400	341
為替差益	12,808	—
補助金収入	4,757	—
投資事業組合運用益	63,172	—
持分法による投資利益	644	479
その他	9,067	5,161
営業外収益合計	96,992	7,070
営業外費用		
為替差損	—	93
投資事業組合運用損	—	4,750
その他	114	205
営業外費用合計	114	5,048
経常利益	203,373	72,369
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,359
特別利益合計	—	1,359
税金等調整前四半期純利益	203,373	73,728
法人税、住民税及び事業税	25,965	10,190
法人税等調整額	63,979	△336
法人税等合計	89,944	9,853
四半期純利益	113,428	63,874
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△404	1,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,833	61,984

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	113,428	63,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,921	15,805
その他の包括利益合計	8,921	15,805
四半期包括利益	122,350	79,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,755	77,790
非支配株主に係る四半期包括利益	△404	1,890

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	インターネット 広告事業	インターネット メディア事業	計		
売上高					
自社企画サービス	3,254,215	316,272	3,570,488	—	3,570,488
代理提供サービス	698,553	—	698,553	—	698,553
顧客との契約から生じる収益	3,952,769	316,272	4,269,041	—	4,269,041
外部顧客への売上高	3,952,769	316,272	4,269,041	—	4,269,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	990	3,990	4,981	△4,981	—
計	3,953,759	320,263	4,274,022	△4,981	4,269,041
セグメント利益	224,150	86,569	310,719	△204,223	106,495

(注1) セグメント利益の調整額△204,223千円は、報告セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	インターネット 広告事業	インターネット メディア事業	計		
売上高					
自社企画サービス	2,507,157	359,143	2,866,300	—	2,866,300
代理提供サービス	587,986	—	587,986	—	587,986
顧客との契約から生じる収益	3,095,144	359,143	3,454,287	—	3,454,287
外部顧客への売上高	3,095,144	359,143	3,454,287	—	3,454,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,207	2,541	3,748	△3,748	—
計	3,096,351	361,684	3,458,036	△3,748	3,454,287
セグメント利益	275,110	7,757	282,868	△212,521	70,346

(注1) セグメント利益の調整額△212,521千円は、報告セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「エージェンシー事業」および「メディア・アドテク事業」から、「インターネット広告事業」および「インターネットメディア事業」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。これに伴い、顧客との契約から生じる収益を分解する区分を変更後の報告セグメントに変更しているため、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は「注記事項（セグメント情報等）」に記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。